

2023年(令和5年) 8月 16日(水) 第5回例会(通算2987回)

2023-24年度 ◆クラブ会長テーマ◆ 「奉仕の輪をひろげよう」

会長：前原 博一 副会長：宮城 早人 幹事：今西 敦之

直前会長：大浜 勇人 副幹事：新里 裕樹 会場監督(SAA) 委員長：新川 正人



世界に希望を生み出そう

2023-24年度RI会長テーマ

RI会長：ゴードンR.マッキナリー

栃木一夫ガバナー 地区基本方針

「持続可能な元気なクラブを実現しよう」

地区の合言葉

「ロータリアンの心に火をつけよう」

” Get the joy of Rotary”

今月のロータリーレート 1\$¥141

八重山の民謡

ヌヌサラシ

◎布晒 節(石垣・本調子)

※布晒とは、織り上げた布を海水に漬けたり白砂上で天日したりして真白く晒しこれを洗濯して打ち延ばし仕上げで御用布座と称する役所の検査を受け合格した物を人頭税として毎年2月10日までに完納しなければならない完納した村の婦女子には蔵元の庭で舞踊をさせ賞して期限に遅れた村には舞踊等を禁じていた。人頭税時代の婦女子に課せられた御用布を織り完納するまでを歌っている。原料は苧麻と綿花の二種類あって首里王庁から縞柄の見本が来ると蔵元の役人はそれを各村々に配布する村番所に婦女子毎日集合させ佐事補佐監視の下で苧麻糸を紡がせて夜業を強制させられていた。完納までは家庭も振り捨てて村番所に宿泊させて夜は不本意ながら検査役の「お伽・トギ」を勤める等あらゆる手段を尽くして完納をみたのであった。この布晒節は1820年頃「大浜善繁」が蔵元の脇筆者役の時に新川村から選ばれて作歌・作曲し新川・石垣・大川・登野城と各字毎に歌い継がれている。又彼は政治家で音楽家でもあった上に天才的な美術彫刻家でもあった。後に彼は祖納嵩節も作歌・作曲しており新川部落の豊年祭の巻踊りの創作者でもあると言われている。(八重山民謡誌より)

●わたした ^{ミヤラビ} 女 童 ぬ ウネ うがんでむぬ

(妾ども乙女が、織り上げた御用布であるから)

●布美らさ ^{ヌヌヂュ} 挿 ^{ウガ} でい・綾美らさ ^{アヤヂュ} 挿 ^{ウガ} でい

(布美しく織り上げて、縞柄も「見本通り」織り上げた)

※ヒーヤー ヤウ ンナ (以下同じ)

ヌヌサラシ

布晒 節(大川・本調子)中位

●天 ^{ティンジャナシ} 加 ^{グユ} 那志 御用ぬ スリ ^{ハタユミ} 二十 ^{ミヌヌ} 説ぬ 御布 (以下同じ)

(琉球国王への御公用は、最高級の「ハタユミ・縦糸一六〇〇本」の上布)

●勢頭 ^{シドウフナグ} 舟子 ^{スル} 揃 ^{シンタク} てい・洗濯 ^{ウスマジ} ゆ ^{ウスマジ} しゃびん●潮水 ^{ウスマジ} ん かきてい・清水 ^{キユミジ} ん かきてい

(主任と補佐役が揃って、洗濯をしましょう)

(潮水にも浸し、清水もかけて)

●干 ^フ し ^{サラ} 晒し ^フ さらし・あぎ ^フ てい すいでいら・ヤウ ンナ

(日に干し晒し洗濯して、完納して、有難く喜び戻りましょう)

8月のプログラム

8/16(水)ゲスト卓話

8/23(水)ゲスト卓話

8/30(水)休会(旧盆のため)

例会日 水曜日 12:30~13:30
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311
TEL/FAX(0980)83-2917
E-mail ishirotdary@ninus.ocn.ne.jp

- ◇総会員数：55名（名誉会員2名・出席免除会員2名）
- ◇出席義務会員数：51名
- ◇出席人数：35名 欠席人数：16名 出席率：68.62%

＜司会進行：黒島勝・玉吉秀庸＞

- ◇ロータリーソング：君が代 奉仕の理想
- ◇ソングリーダー：大島盛幸
- ◇メークアップ：櫻井浩一 新川正人 松尾和彦 宮良幸男
仁開一夫 森田安高

【第2回理事会】・推薦書（新入会員）について：承認

- ・台風接近に伴う臨時休会（週の月曜日に決定）：承認
- ・2023年7月秋田豪雨支援金（一人/500円）：承認
- ・地区補助金PJ：承認・8月、9月、10月プログラム：承認

◆ 会長挨拶 ◆ 前原博一



皆様、こんにちは、本日の例会に参加して頂き誠にありがとうございます。今回は「ロータリーの友」7月号に掲載されていた内容からお話したいと思います。

2022年6月に第2710地区IM特別公演会で元厚生労働事務次官の村木厚子さんが講演された内容です。

「女性がより活躍できる組織・社会づくり」

その主な内容は、これからの日本は、女性の活躍しやすい社会・組織づくりが必要ですが、実際は、他の国と比較しても、日本ではまだまだ女性が活躍できる社会になっていないということ。その原因は何か？ その解決策は？というものでした。

現在は皆様も御存じの通り、少子の時代と言われています。このまま少子化が進めば、将来の働き手が減少していき、日本経済がどんどんと縮小していくことになります。現在でさえも人手不足で働き手がなかなか見つからないという状況です。この10年間、政府も人手不足の問題を解決するため、女性の活躍を提唱してきました。

女性が今以上に社会で活躍できるようになるためには、社会環境や職場環境など女性が働きやすい環境づくりがどうしても必要になります。そのことから「働き方改革」が始まりました。その改革は、主軸として3つあります。

- ① 長時間労働をやめ、健康を維持できて、勉強する時間も取れる働きかをする。
- ② 融通が利く職場にする
- ③ 多様な働き方をしている人が公平に扱われるようにする。

日本は均質性をもつ社会で、「いままでが一番いい」を好みそうです。反対に、新しいことを組織にいれることが、苦手と言われています。

日本はこの20年間、先進国の中の中においても、生産性も上がらず、経済もの伸びていない状態でした。

日本の科学技術は世界的にかなり高いのにもかかわらず新しいものが生まれてこなかったとも言われ、その主な原因は、日本は違う人たちと組んで、一緒に仕事をするのが苦手であると分析されています。

日本と海外、企業と役所、研究機関と会社、など違う組織と一緒に働くことがとても苦手といわれています。

仮に、この苦手を克服することができれば、日本は格段に発展するともいわれます。異なる組織と一緒に働く、言い換えれば、異なるものをつないでいくことが、鍵ということになります。このことから言えることは、新しいことを組織に取り入れていくこと、そして異なるものをつないでいくことが発展するためのポイントとするならば、これからの日本にとって、女性が活躍できる社会づくりは、これから日本が格段に発展していくためにも、もっとも重要な取り組みの1つになるのではないのでしょうか？なぜ、ロータリークラブが100年以上も続いているのか？ロータリークラブは、それぞれ異なる職業をもつ異業種の会員が集まる組織であることを重要視しています。組織が発展していくための鍵とする「異なるものをつないでいく」とロータリークラブが重要視している「異業種の職業人が集まる組織」との共通していることが、組織が発展し、100年以上続くロータリークラブの秘訣ではないのでしょうか？

本日の新聞 上原晃子さんの記事がありました。

「こども110番の家」の避難想定訓練の記事の掲載がありました。110番の家は、地域ぐるみで子供たちの安全を守っていくボランティア活動である。こどもたちが何らかの被害に遭ったり、遭いそうになったり助けを求めてきた場合、こどもを家や店舗に入れて保護する活動、この記事を読んでまさにロータリーの五大奉仕である「職業奉仕」を実践されている。

それでは皆様、本日も「奉仕の輪を広げていきましょう」以上、会長挨拶になります。それではよろしくお祈りします

◆ 幹事報告・報告・今西 敦之 ◆

8月は、会員増強、新クラブ結成推進月間となっておりますので、会員増強委員会の垣本委員長、宜しくお祈り致します。また、木下様ようこそおいで下さいました。どうぞごゆっくりお過ごしください。そして、大浜一郎パスト会長、ご無沙汰しております。今月は、卓話を依頼させて頂いておりますので、どうぞよろしくお祈り致します。

先ほど終わりました理事会報告です。会員の皆さまに緊急にご案内する事が2点ございます。1点目：台風接近に伴う臨時休会について。先週、台風6号の発生により、理事会・例会が臨時休会になりました。その部分につきまして、クラブ全体としての基準、定義というものが定まっていまませんでしたので、理事会で議論させて頂きました。台風が発生している状況であれば、月曜日に臨時休会を致すということで、理事会で決定いたしましたので、追って次週の週報に記載させて頂きます。2点目：地区より、秋田県豪雨支援金のお願いが栃木ガバナリーより依頼が来ております。クラブより一人500円の支出をしたいと思っております。この件も、理事会で承認されましたので、53名分拠出したいと思います。その他の承認事項にうきましては、次週の週報に記載させて頂きます。台北大同RCより、暑中お見舞いが届いております。続きまして、2580地区より、青少年交換派遣学生の帰国報告会の案内が届いております。昨年度夏にフィンランド共和

国へ派遣いたしました第 57 期地区青少年交換派遣学生の浦崎絵戸さん(沖縄カトリック中学高等学校)が留学生生活を終え、8/2 に無事帰国されたということでございます。その学生につきまして、帰国報告会を開催されます。9/6(水)12:30~13:30、ラグナガーデンホテル 2F、登録料は 2,500 円でございます。ご参加の方は事務局までお願い致します。2023-24 年度 RLI 受講エントリーのお願いでございます。このセミナーにつきましては、当クラブから吉田委員長と松田委員長はすでに卒業されていると思いますが、3 つのパートに分かれておりまして、沖縄会場は Part I 9/30(土)、Part II に 10/28(土)、Part III に 11/26(日)会場は、沖縄県男女共同参画センターで開催される予定でございますので、RLI セミナー受講につきまして参加ご希望の方は事務局にお問い合わせをお願いいたします。先ほどの理事会で、例会の日時に変更がございましたので、お伝えさせていただきます。9/27(水)桃林寺の夜間例会でございますが、9/26(火)に桃林寺で座禅及び観月会を開催させていただきます。当日は、東京上野 RC より 3 人の方が来島されますので、どうぞ皆さん万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようよろしくお願い致します。また、本日出席されています大浜一郎パスト会長の卓話を 8/23(水)通常例会のなかで「県政報告」と題しまして卓話をして頂きます。10/25(水)には、岡崎南 RC から 3 名の会員の方がご来島になります。以上、よろしくお願い致します。

☆ 新入会員の紹介 ☆

氏名:木下 省三 氏

会社名:全日本空輸株式会社

役職:石垣八重山支店長

生年月日:1969 年 9 月 17 日



先ほど、橋本先生からもありましたように、前任、宮脇の方が是非にということでお仲間に入れていただきつつも、コロナ禍のなかで、泣く泣く退会をせざるを得なかった、こういう状況のなか、再度、皆様にこうして迎え入れていただき、本当にありがとうございます。私自身は、いろんな部署を転々とするなか、CSR だったり SDGs、ESG という言葉に触れるような職務が多かったこともございますけれども、会社だからとか仕事だからとかじゃない一個人としても、その部分としては自分の魂のなかに宿して、しっかりとやっていきたいと思っておりますし、会社を超えても自分ではやりたいと思っております。会員の皆様は、各分野の隻眼であられると思っております。その皆さんの矜持に触れることで、私自身ももっとも成長し、皆さんの力になれると思いますので、ぜひともご指導いただければというふうに思います。どうぞよろしくお願い致します。

◆ 各委員会 2023-24 年度活動方針・計画 ◆

大本綾子職業奉仕副委員長:委員長:東上里和広

委員:宮良幸男・伊盛米俊

本日は、委員長の東上里さんがお休みの為、副委員長の本大がお伝えさせていただきます。宜しくお願い致します。

<活動方針>: 自己の職業に奉仕の理念を照らし合わせ、実践・行動することで、ロータリアン一人一人が、

職業と日常生活において奉仕活動を行う。

<活動計画> 1. 職業奉仕月間には、会員の職場訪問を行い、職業内容について理解を深める。

2. 例会にて、職業奉仕を実践した会員から卓話をいただき、自己研鑽に繋げる。

松田新一郎社会奉仕委員長:副委員長:国仲恵亮

委員:佐久本達・大島盛幸

<活動計画> 竹富小中学校にある「指田文庫」への図書券寄贈を行います。

1. ロータリー地区財団補助金プロジェクト申請中の波照間小中学校、はてるま幼稚園 教員支援事業について同申請が裁可される場合に実施することとしています。

この申請は、先月承認されました。今月、波照間の方に行きまして、調整の後、年内で寄贈を行う予定でありますので、皆様のご協力をお願いします。また、毎年恒例の献血を 2 回、社会奉仕委員会で対応したいと思います。

2. 次年度ロータリー地区財団補助金プロジェクト申請の調整等を図ります。3. 定期的に委員会を開催

今西幹事からご報告: 森田安高国際・米山委員長:副委員長:西表浩司 委員:米盛博和・砂川和徳

<活動方針>: コロナ禍で途絶えていた、台湾の姉妹クラブ、有効クラブとの交流を再開し、国際的な会合に取り組むとともに、国際大会に積極的な参加を呼びかける。また、米山奨学事業とバギオ基金に対する理解を深める。

<活動計画>: 1. 台湾姉妹クラブ、台北大同ロータリークラブ並びに台湾友好クラブ、台東東ロータリー交流を深める。2. 国際大会シンガポールへ 10 名以上の参加を目指す。3. 米山奨学基金の普通寄付を継続して行う。4. バギオ基金についての勉強会の開催

南波正幸ロータリー財団委員長:副委員長:櫻井浩一

委員:上原晃子・前木繁孝

<活動方針>: ロータリー財団は、「世界でよいことをしよう」を標語として活動していますが当クラブは、毎年のように地区補助金を活用したプログラムを行っています。

今年も、地区補助金ではてるま幼稚園、小中学校へ寄付することが決まっています。今年度、会長のテーマは「奉仕の輪を広げよう」を実現するためにも、寄付は、絶対に必要になりますので、皆様の理解を頂けるよう努めて参ります。

<活動計画>: 1. ポリオプラス根絶に関わる奉仕活動 2. 地区補助金、グローバル補助金活用への取り組み 3. ポール・ハリス・フェロー、マルチプルポール・ハリス・フェローの認証 4. 財団寄付 地区目標 230ドル 10名以上の輩出

山下暢行動計画推進委員長: この委員会は説明も兼ねますので、少しお時間ください。そもそも何をやる委員会なのか分からずに拜命をされましたけれども、4 月の東京での地区研修協議会に参加して少しだけ理解できましたので、説明させていただきます。Q&A でなぜ行動計画というものが出来たのか? という質問がございました。回答としては、今日の世界は、ロータリークラブが誕生した 1905 年の世界とは異なります。変

化する速度は増し、テクノロジーによって、奉仕のための新しい機会も生まれています。しかし、親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ、こういったものは変わっていません。ロータリークラブが時代に即した組織として発展してし、進化していくための指針となるのが行動計画。行動計画によってロータリーは過去を称えながら未来を受け入れることができます。というものでした。これに基づいて作られた委員会なんです。先輩方はおそらく理解していただいていると思いますけれども、4年目の私ではちょっとなかなか難しいというのが実感でございます。ただ実は、行動計画はすでに決められているという事を学びました。

<活動方針> 昨年(2022-23年)度地区大会において、組織をより成長させるためにはビジョンや行動計画が必要で、クラブの参考となる地区ビジョン・行動計画を立案することと、【決議第11号】として、決議されています。

2024年迄のロータリーの行動計画(戦略的優先事項)として、次の4点が定められています。

1.「より大きなインパクトをもたらす」、2.「参加者の基盤を広げる」、3.「参加者の積極的なかわりを促す」、4.「適応力を高める」。

<活動計画> : 既に、2023-24年度 行動計画推進委員会に指示されている役割があります。

～ 例 会 風 景 ～



ご入会おめでとうございます。



第6子誕生おめでとうございます。

- 本日のニコニコ:** ☆今西教之幹事: 宮城副会長、第6子誕生おめでとうございます。木下様、ようこそおいで下さいました。
 ☆上勢頭保氏: 全日本空 石垣八重山支店長 木下省三様の入会を歓迎申し上げます。
 ☆大浜一郎氏: 久しぶりに参加しました。☆橋本孝来氏: 木下さん、入会ありがとうございます。
 ☆黒島剛氏: 木下様 石垣ロータリークラブ入会おめでとうございます。☆宮城早人氏: 木下さん、入会おめでとうございます。
 ☆吉田貴紀氏: 木下さん、入金今後ともよろしくお願いいたします。
 ☆新垣精二氏: 木下さん、入会おめでとうございます。上原晃子さん、今朝の新聞ナイスです。
 ☆垣本徳一氏: 木下省三さん、入会おめでとうございます。☆新里裕樹氏: 木下さん、ご入会おめでとうございます。どうぞよろしくお祝い致します。
 ☆黒島勝氏: 木下さん、ご入会おめでとうございます。同業者として共に盛り上げてまいりましょう!

◆BOX ¥12,000 (累計 ¥58,000) ◆コイン ¥2,074 (累計 ¥8,363) 合計 ¥66,363



HAPPY BIRTHDAY

石川 尚吾 氏 12日(土)